

5. 男女共同参画について

(1) 家庭生活での男女の地位の平等感

◇【男性優遇（計）】が5割を超え、「平等」は3割台半ば、【女性優遇（計）】は約1割

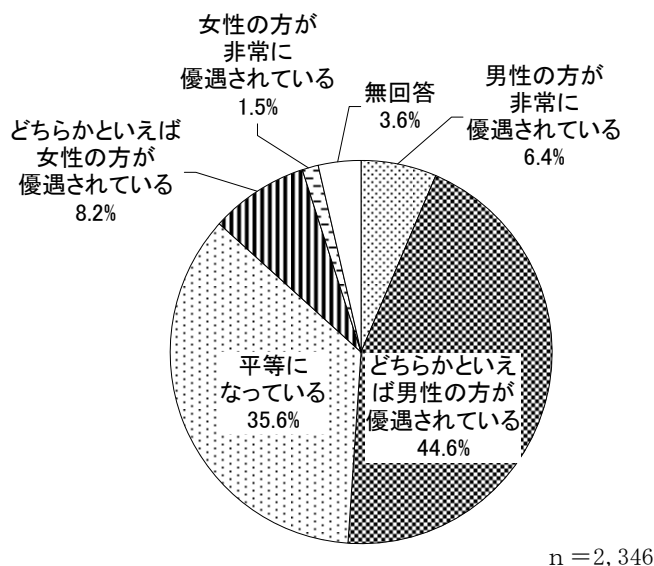
問13 現在、家庭生活上で男女の地位は平等になっていると思いますか。(○は1つ)

n = 2,346

1 男性の方が非常に優遇されている	6.4%
2 どちらかといえば男性の方が優遇されている	44.6%
3 平等になっている	35.6%
4 どちらかといえば女性の方が優遇されている	8.2%
5 女性の方が非常に優遇されている	1.5%
(無回答)	3.6%

現在、家庭生活上で男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ、「男性の方が非常に優遇されている」(6.4%)と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(44.6%)の2つを合わせた【男性優遇（計）】(51.0%)は5割を超えている。「平等になっている」(35.6%)は3割台半ばで、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(8.2%)と「女性の方が非常に優遇されている」(1.5%)の2つを合わせた【女性優遇（計）】(9.7%)は約1割である。(図IV-5-1)

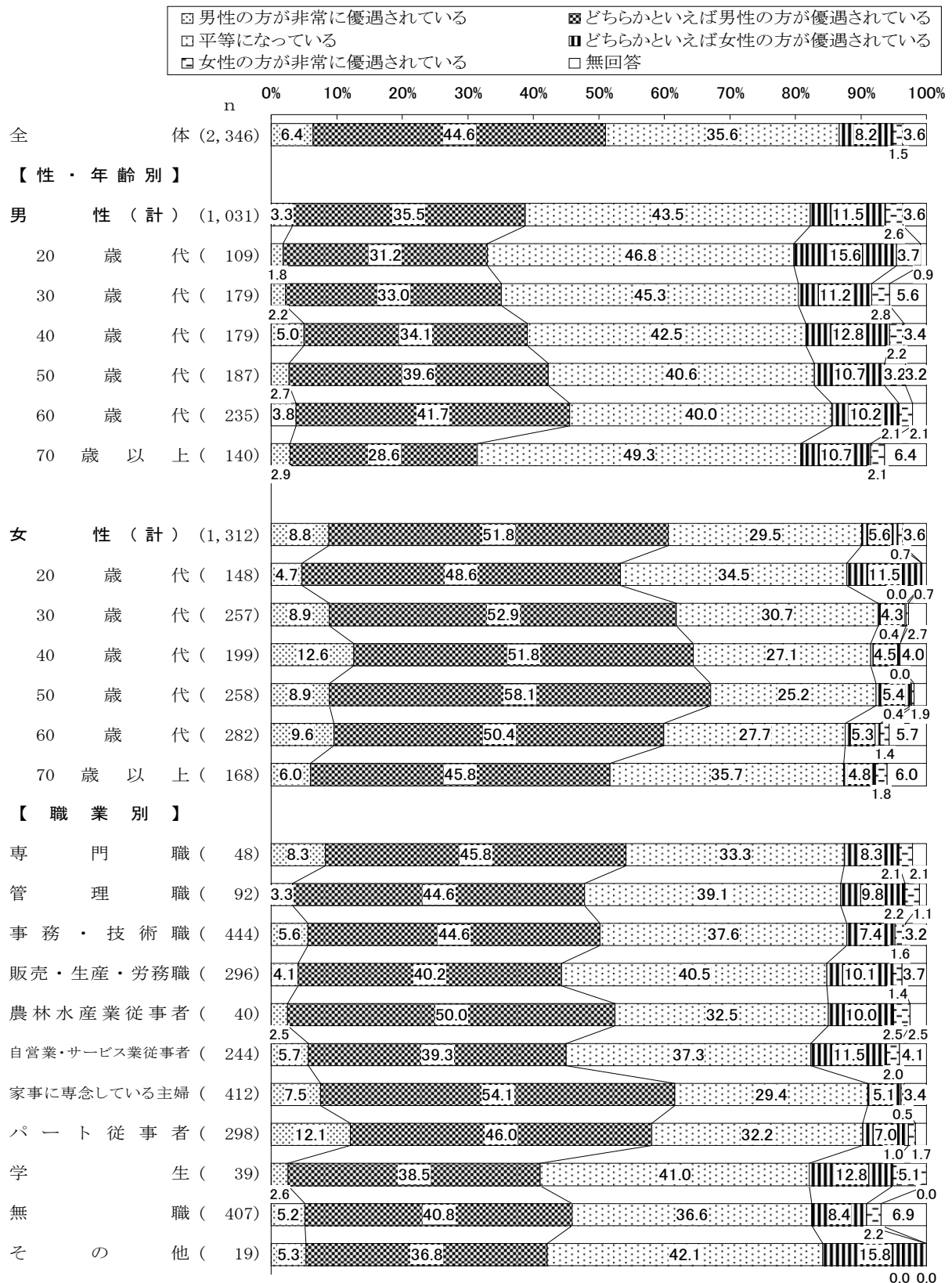
<図IV-5-1>全体



性・年齢別で見ると、【男性優遇（計）】は＜女性/50歳代＞（67.0%）で7割近くとなり、＜男性/60歳代＞（45.5%）で5割台半ばとなっている。一方、【女性優遇（計）】は＜男性/20歳代＞（19.3%）で約2割となり、＜女性/20歳代＞（11.5%）で1割を超えている。（図IV-5-2）

職業別で見ると、【男性優遇（計）】は＜家事に専念している主婦＞（61.6%）で6割を超え、【女性優遇（計）】は＜自営業・サービス業従事者＞（13.5%）で1割を超えている。（図IV-5-2）

＜図IV-5-2＞性・年齢別／職業別



(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する理想と現実

◇【理想】は「プライベート」が3割近く、「仕事・家事・プライベートすべて」が2割を超える

◇【現実】は「仕事」が4割近く、「仕事と家事」「家事」が1割台半ば

問 14 生活の中で、仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）のうち、何を優先しますか。【理想】と【現実】について、それぞれ1つずつあてはまる番号に○をつけてください。

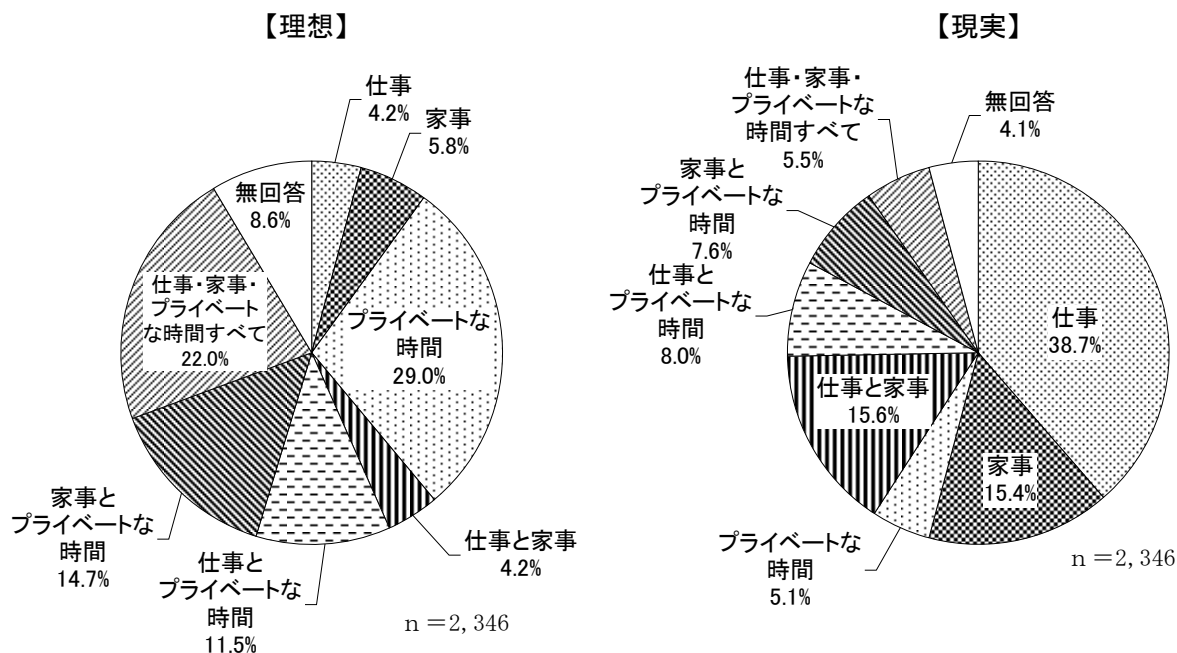
	n = 2, 346	【理想】	【現実】
1 仕事		4.2%	38.7%
2 家事		5.8	15.4
3 プライベートな時間		29.0	5.1
4 仕事と家事		4.2	15.6
5 仕事とプライベートな時間		11.5	8.0
6 家事とプライベートな時間		14.7	7.6
7 仕事・家事・プライベートな時間すべて		22.0	5.5
(無回答)		8.6	4.1

生活の中で、「仕事」と「家事（育児）」、「プライベートな時間（趣味など）」のうち何を優先するかについて、【理想】と【現実】の2つに分けて聞いた。

【理想】は、「プライベートな時間」（29.0%）が3割近くで最も高く、次いで「仕事・家事・プライベートな時間すべて」（22.0%）、「家事とプライベートな時間」（14.7%）、「仕事とプライベートな時間」（11.5%）などの順となっている。

【現実】は、「仕事」（38.7%）が4割近くで最も高く、次いで「仕事と家事」（15.6%）、「家事」（15.4%）などの順となっている。（図IV-5-3）

<図IV-5-3>全体

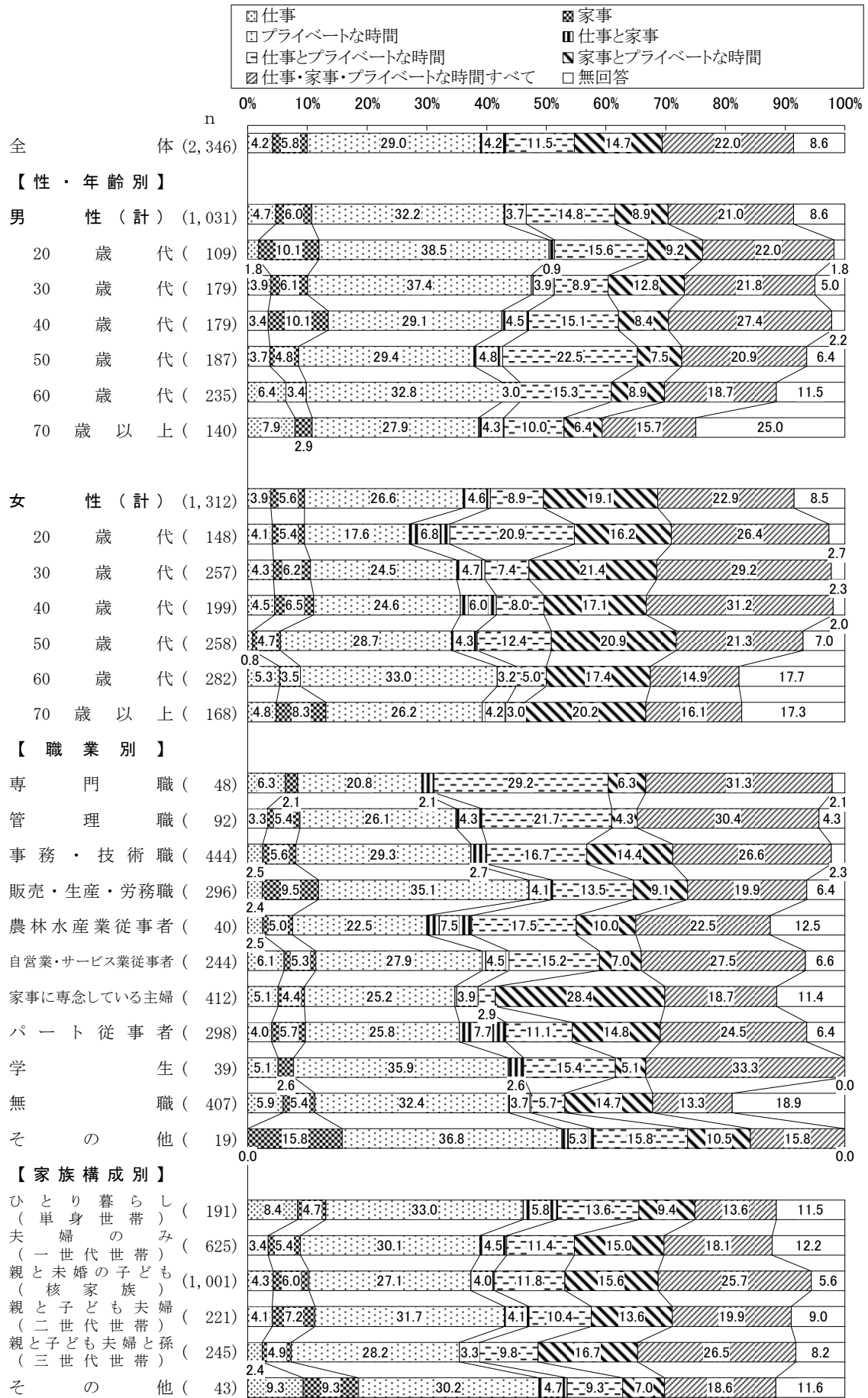


性・年齢別で見ると、【理想】は「プライベートな時間」が＜男性/20歳代～30歳代＞で4割近くとなり、＜女性/60歳代＞（33.0%）で3割を超えている。「仕事・家事・プライベートな時間すべて」は＜女性/40歳代＞（31.2%）で3割を超え、＜男性/40歳代＞（27.4%）で3割近くとなっている。（図IV-5-4）

職業別で見ると、【理想】は「プライベートな時間」が＜販売・生産・労務職＞（35.1%）で3割台半ばとなり、「仕事・家事・プライベートな時間すべて」は＜管理職＞（30.4%）で約3割となっている。（図IV-5-4）

家族構成別で見ると、【理想】は「プライベートな時間」が＜ひとり暮らし（単身世帯）＞（33.0%）で3割を超え、「仕事・家事・プライベートな時間すべて」は＜親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）＞（26.5%）で3割近くとなっている。（図IV-5-4）

<図IV-5-4>性・年齢別／職業別／家族構成別【理想】

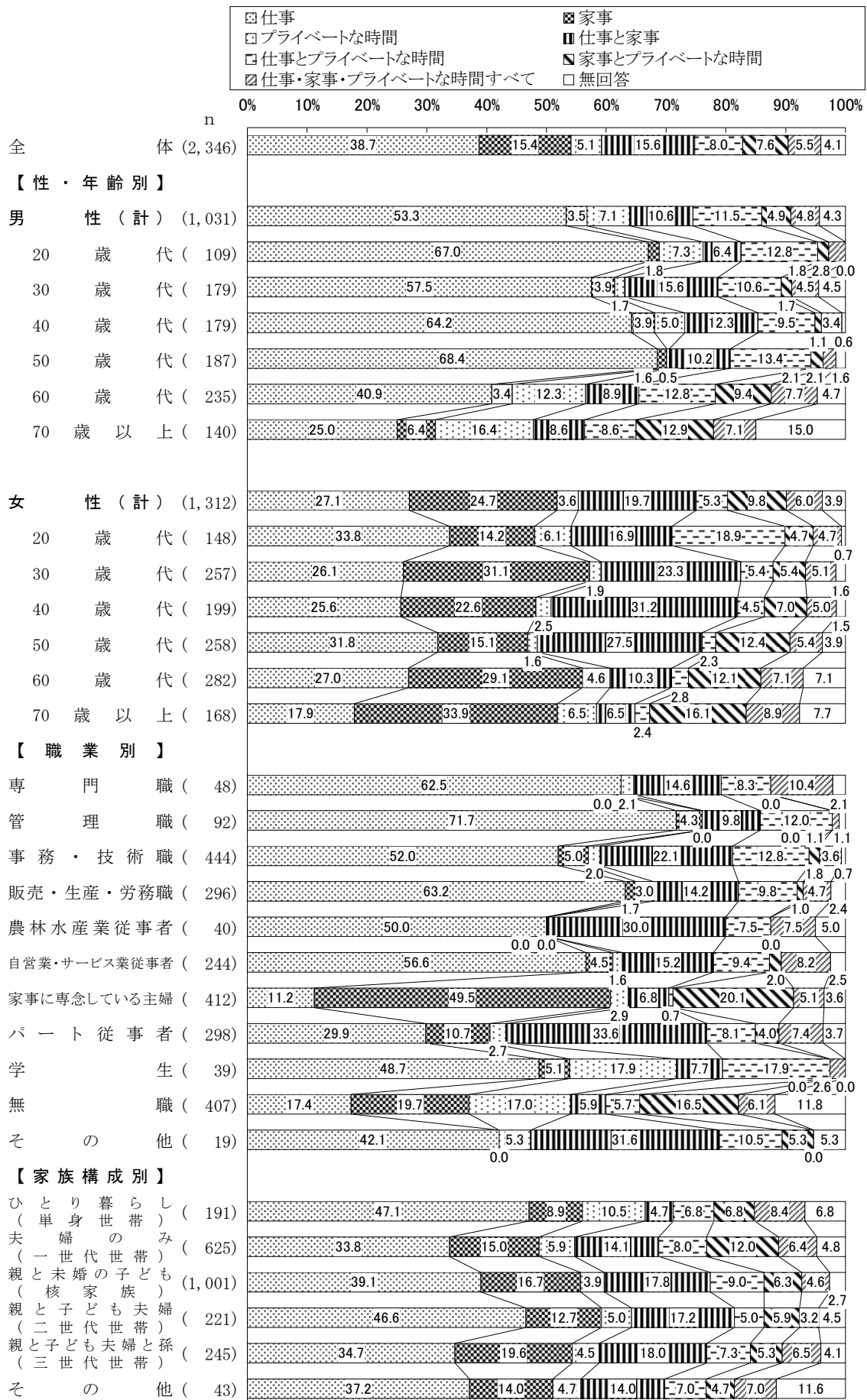


性・年齢別で見ると，【現実】は「仕事」が＜男性/20歳代，50歳代＞で7割近く，＜女性/20歳代，50歳代＞で3割を超えている。「仕事と家事」は＜女性/40歳代＞（31.2%）で3割を超えている。（図IV-5-5）

職業別で見ると，【現実】は「仕事」が＜管理職＞（71.7%）で7割を超え，「仕事と家事」は＜パート従事者＞（33.6%）で3割を超えている。（図IV-5-5）

家族構成別で見ると，【現実】は「仕事」が＜ひとり暮らし（単身世帯），親と子ども夫婦（二世代世帯）＞で5割近く，「仕事と家事」は＜親と未婚の子ども（核家族），親と子ども夫婦（二世代世帯），親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）＞で2割近くとなっている。（図IV-5-5）

<図IV-5-5>性・年齢別／職業別／家族構成別【現実】



(3) 配偶者からの暴力を受けた経験

◇ “精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた” 経験のある人は 7.1%

問 15 過去 2 年間に夫や妻, 恋人から, 暴力を受けたことがありますか。次の各項目について, あてはまる番号に○をつけてください。

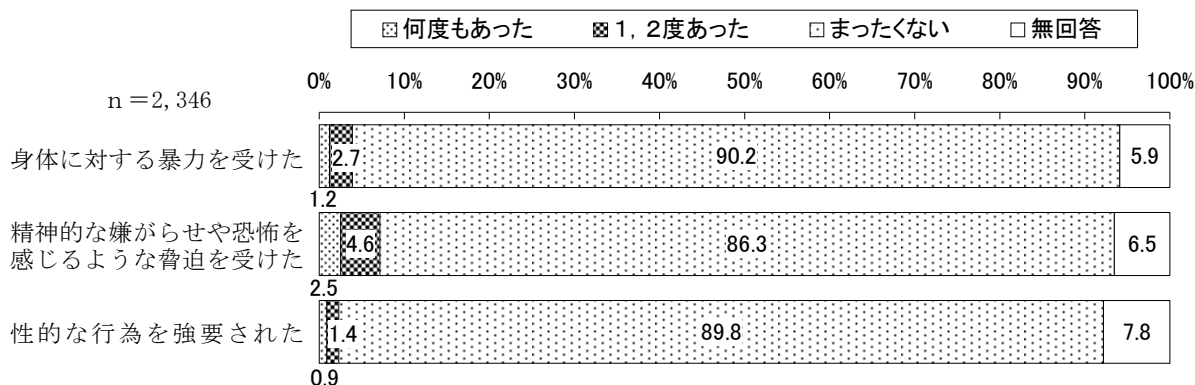
n = 2, 346

項 目	何 度 も あ っ た	1, 2 度 あ っ た	ま っ た く な い	(無 回 答)
身体に対する暴力を受けた	1.2	2.7	90.2	5.9
精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた	2.5	4.6	86.3	6.5
性的な行為を強要された	0.9	1.4	89.8	7.8

過去 2 年間に, 夫や妻, 恋人から暴力を受けたことがあるか聞いた。

「何度もあった」と「1, 2度あった」の2つを合わせた【経験あり (計)】の割合は, “精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた” (7.1%) が最も高く, 次いで“身体に対する暴力を受けた” (3.9%), “性的な行為を強要された” (2.3%) の順となっている。(図IV-5-6)

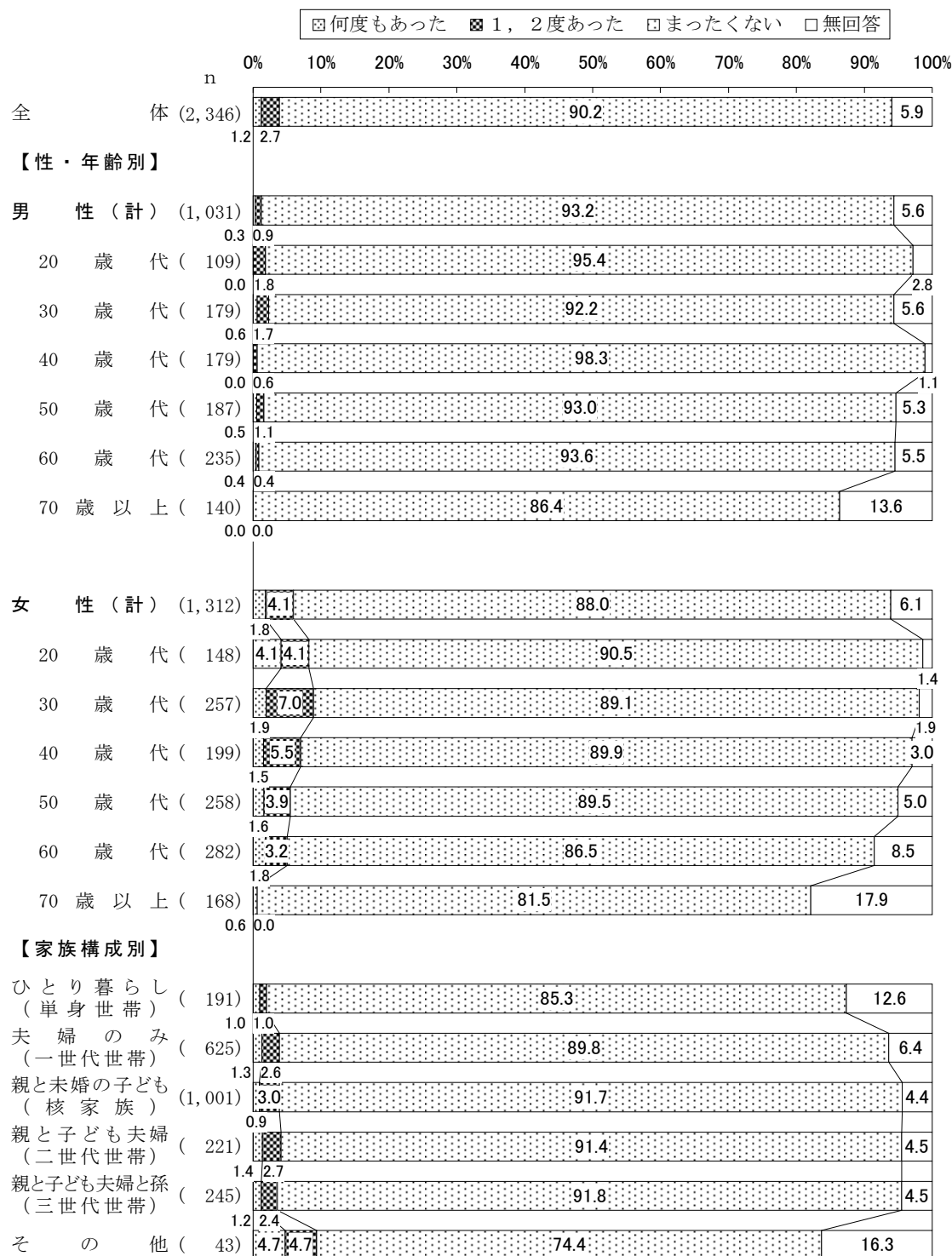
<図IV-5-6>全体



性・年齢別で見ると、身体に対する暴力を受けたことは「まったくない」が<男性/40歳代> (98.3%) で10割近く、<女性/20歳代> (90.5%) で約9割となっている。(図IV-5-7)

家族構成別で見ると、身体に対する暴力を受けたことは「まったくない」が<親と未婚の子ども(核家族)、親と子ども夫婦(二世帯世帯)、親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>で9割を超えている。(図IV-5-7)

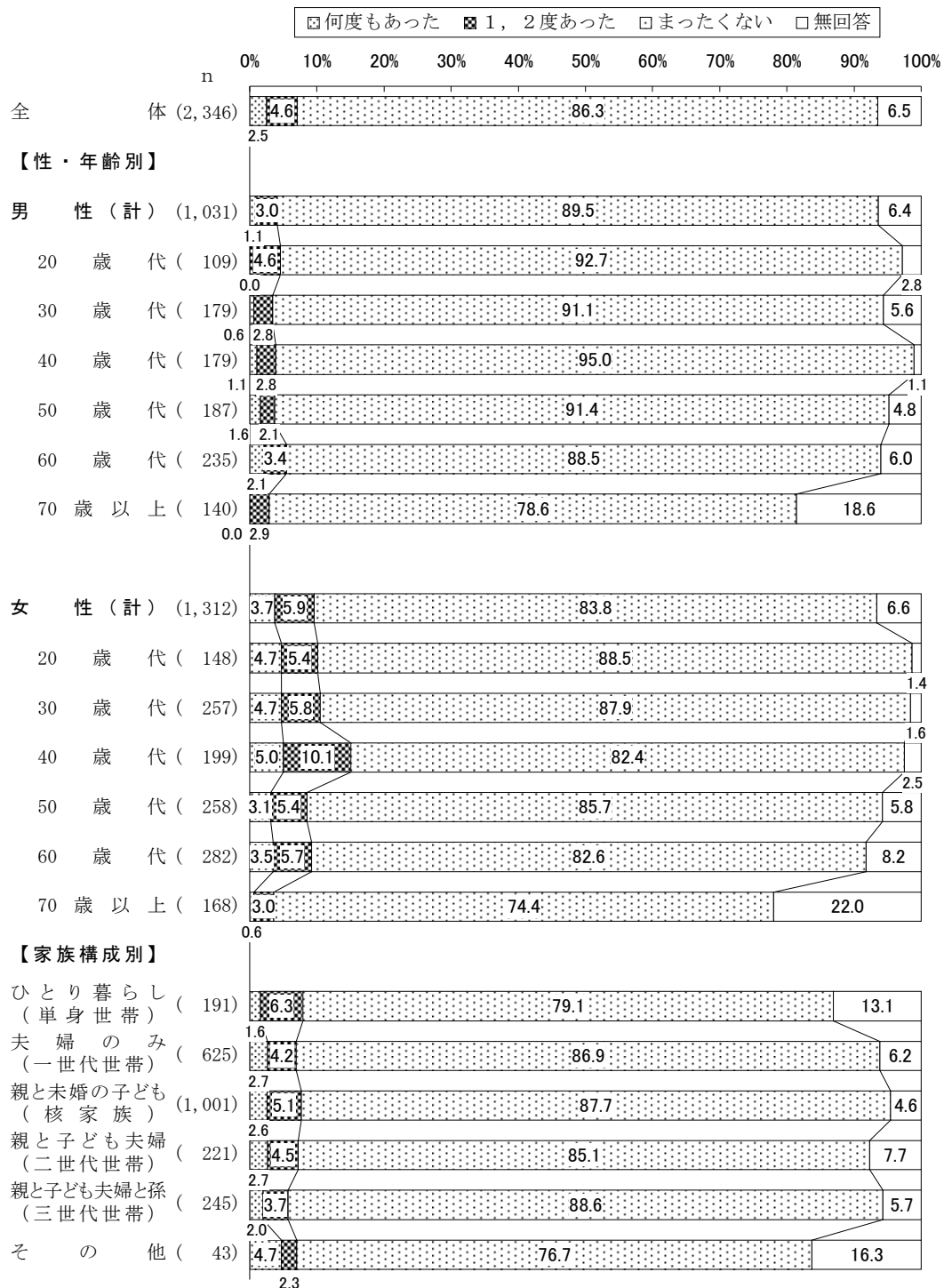
<図IV-5-7>性・年齢別/家族構成別



性・年齢別で見ると、精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けたことは「まったくない」が<男性/40歳代> (95.0%) で9割台半ばとなり、<女性/20歳代～30歳代>で9割近くとなっている。(図IV-5-8)

家族構成別で見ると、精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けたことは「まったくない」が<夫婦のみ(一世代世帯)、親と未婚の子ども(核家族)、親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>で9割近くとなっている。(図IV-5-8)

<図IV-5-8>性・年齢別/家族構成別



性・年齢別で見ると、性的な行為を強要されたことは「まったくない」が＜男性/40歳代＞（97.8%）で10割近くとなり、＜女性/20歳代＞（94.6%）で9割台半ばとなっている。（図IV-5-9）

家族構成別で見ると、性的な行為を強要されたことは「まったくない」が＜親と未婚の子ども（核家族）、親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）＞で9割を超えている。（図IV-5-9）

＜図IV-5-9＞性・年齢別／家族構成別

